

# 富谷町市制移行地区懇談会報告

## ～意見・質問およびそれに対する回答～

5月に行われた富谷町市制移行地区懇談会。先月号では主に懇談会の概要や町長要旨について説明を掲載しました。

今月号では、懇談会で皆さんからいただいた主なご意見やご質問とそれに対する町の回答を紹介します。

※質問および回答の内容は発言の趣旨を損なわないように簡潔にまとめています。

各会場参加人数

開催日	会場	参加人数
5月13日	あけの平公民館	50人
5月15日	日吉台公民館	29人
5月18日	富谷中央公民館	42人
5月19日	富ヶ丘公民館	63人
5月20日	西成田コミュニティセンター	23人
5月22日	東向陽台公民館	58人
5月25日	成田公民館	41人
計		306人

### 手続き

**Q** 今年の10月の国勢調査から市制移行の手続きが正式に始まる3月の町議会の議決まで、4、5カ月空くのはなぜですか。

**A** 国勢調査は10月に実施されますが、その速報値が総務省から発表されるのが平成28年2月下旬で、そこから正式に手続きが始まり、具体的には3月に開会される町議会への提案となるためです。

**Q** 当初、市制移行は平成28年の春頃と聞いていましたが、なぜ10月10日になったのですか。

**A** きました。既に市制に移行した長久手市や野々市市、大網白里市ですと20%台という回収率となっており、同じ方法で富谷町は30%を超える回収率でしたので、高い回収率と表現しました。

**Q** 今回の懇談会はなぜ平日開催にしたのですか。また、資料は全世帯に配布しないのですか。

**A** 平日の夜に参加できない方もいますので、配慮が足りませんでした。今後、土日等の開催も検討します。また、当日の資料や懇談会の概要は、広報紙やホームページなどでお知らせします。

**Q** 市に移行した場合、黒川郡内の町村との関わりはどのようなになりますか。

**A** 現在、黒川4町村で行政事務組合を構成して消防運営などを行っています。これは市制に移行しても変わりません。中体連はじめ中学校で行っている体育大会関係も、黒川地区という今までと同様の形態で行うことが決まっています。そのほか小学校の音楽会等に

### A

市制移行の期日については、国勢調査の速報値が2月に出た場合、そこから町の議会の手続き、県議会の手続き、総務省の手続き等さまざまな手続きが発生します。それらの手続きを行い、最短で市制に移行できるのが10月で、かつ電算システムの移行作業等に正確を期すためには、連続した休日が必要との判断から、10月10日としました。



については、今後協議しながら決定していきます。

### 税金

**Q** 税金については変更なしとありますが、固定資産税は見直しが早まったり、評価額が上がったりすることはないのであるのですか。

**A** 固定資産の評価額の見直しは3年に一回で、市に移行することにより、見直しの期間が短くなるということはありません。なお、評価額の見直しの際は、地価の動向により影響を受けますが、今のところ市に移行することにより極端に上がるという要素はありません。

### 市の名称・住所表示

**Q** 市の名称は斬新なインパクトの強い名称がいいと思います。また、最終的に市の名前を決めるのはいつごろですか。

**A** 今回のアンケートでは7割を超える方に「富谷市」がよいというご意見をいただきました。富谷という名称は歴史的にも大変貴重な名称であると認識しています。また、アンケートの結果は最大限尊重したいと考えています。なお、名称の決定は来年2月の国勢調査の速報値の公表を受け、その後に開会される議会において決定されます。

**Q** 住所表示が変わるといつごろですが、いつごろ決定されますか。

**A** 住所表示が変わることにより、現在の大字・小字の表示がある地域は郵便番号が変わる場合があります。町としては、現在の大字・小字の表示を残し、郵便番号が変わらない方向で進めたいと考えていますが、詳細は行政区長の皆さんのご意見を参考に、できるだけ早い時期に方向性を定めます。

### 職員

**Q** 5万人を超え市制に移行了場合、職員は増えるのですか。

**A** 職員数については、職員の定員適正化計画を作り、財政の負担にならないように計画的に採用します。

**Q** 職員の意識や行政サービス等をどのよう向上させるのですか。

**A** 職員の質の向上のため、スキルアップ研修や、より住民の立場に立つて行動できる職員の育成が十分行えるような研修計画を現在作成していますので、それに基づいて職員の意識や行政サービス等の向上につなげていきます。

### 意向調査・懇談会

**Q** 意向調査の回答状況がわずか34・6%にも関わらず、資料に高い回収率とありましたが、なぜですか。

**A** これまで単独で市制に移行した自治体も同じようにアンケートを実施しており、その実施方法を富谷でも参考にさせていた

# 施設

**Q** 文化ホール等、夢のある会館を作って、多くの方々が利用できるようにしてほしいです。

**A** 文化施設については、多くの町民の方が必要だと思っているので、市制移行に合わせて前向きに検討していきます。

**Q** 警察署や消防署は設置されますか。

**A** 人口の増加と合わせて、警察力、消防力の強化は必要と考えています。今後、警察については交番の設置や人員の増員について、消防については救急車の増車や町全体の消防力の強化について要望していきます。



**Q** 市制移行にあたり、市民霊園の設置も考えていただきたいです。

**A** 町内の寺院は曹洞宗が主なため、他の宗派、宗教の方が求

# 農業

**Q** 市制移行後の農業についてはどのように考えていますか。

**A** 富谷町において農業は、大事な問題の一つです。単純に農業という一つの産業を守るだけではなく、地域を守る意味で農地を守っていかなければなりません。耕作放棄地が増えることは地域が荒れていくことになるので、何としても防いでいかなければなりません。専業農家は少ないので、健全な兼業農家としてしっかりと農地が維持できるような体制をつくり、減反の有効な転作作物の確立も進めていきます。また、特産品のブルーベリーは需要がありますので、今後は積極的に力を入れていきます。



めやすい公営墓地を整備して欲しいとご意見をいただいています。今後は、墓地形態等を含め、設置に向けて検討し、準備を進めます。

# 高齢化対策

**Q** 高齢化が進む中でその対策や社会福祉は大事です。ぜひ進めてください。

**A** 「高齢者保健福祉計画・第六期介護保険事業計画」を策定し、老人福祉施設の設置のほか、グループホームや小規模多機能型居宅介護施設の設置も今後の計画に組み込んでいくことも考えています。また、地域包括ケアシステムの構築に向けて元気な人たちが虚弱な高齢者を地域で支える体制づくりにも取り組まします。

# 経費

**Q** 市制になった時の経費や負担は、補助金などを使って対応できるのですか。

**A** 市になった場合、福祉事務所の設置に係る経費等が増加します。主なものとしては生活保護費の支給に要する費用や児童扶養手当の支給に要する費用です。また、福祉事務所の設置については職員の人件費等がありますが、これらの増加する経費は、基本的には国からの交付金で手当てされることになっています。

# その他

**Q** 富谷町の住民基本台帳の数値と国勢調査の数値はどう違うのですか。

**A** 国勢調査は基準日時点どこに住んでいるのか調査するもので、例えば、住民基本台帳を富谷に置きながら、単身赴任している人は実際に滞在している場所で調査を受けます。富谷町の場合、前回の国勢調査では、住民基本台帳より国勢調査の数値の方が約600人程度低い状況です。



## 市の名称(案)は『富谷市(とみやし)』

市の名称については、富谷町の歴史や「市制に関する住民意向調査」の結果などを踏まえ、「富谷市」とする方向で宮城県や総務省との事前手続きを進めていきます。正式には来年開会される町議会の議決により決定されます。

### 「富谷市」の名称選定の理由

- ◇藩政時代に奥州街道の宿場「富谷新町」として栄えた歴史を持つなど「富谷」の名称は300年以上の歴史と伝統があること。
- ◇明治22年の「富谷村」の誕生、昭和38年の「富谷町」町制施行以来、一度も合併を経ずに「富谷」の名称が引き継がれてきたこと。
- ◇「市制に関する意向調査」で回答者の7割以上が「富谷市がよい」とする意見であったこと。
- ◇市制移行地区懇談会でも特に反対する意見がなかったこと。
- ◇全国で「富谷市」の名称の市は他にないこと。

## 市制移行に伴う住所表示の変更について

町では、市制移行後の住所表示については、混乱を避けることから郵便番号が変わらない表記（現在の大字・小字の表記をそのまま残す表記）が望ましいと考えています。今後、皆さんからご意見をいただき、それを踏まえ、議会への説明を経て、住所表示の変更案を定めます。

- 大字・字の表示のない地域（成田公民館の場合）  
現在「宮城県 黒川郡 富谷町 成田一丁目1番地1」  
↓  
変更案「宮城県 富谷市 \_\_\_\_\_ 成田一丁目1番地1」  
※郵便番号は変わりません。
- 大字・字の表示のある地域（富谷町役場の場合）  
現在「宮城県 黒川郡 富谷町 富谷字 坂松田30番地」  
↓  
変更案「宮城県 富谷市 \_\_\_\_\_ 富谷字 坂松田30番地」  
※郵便番号は変わりません。  
※市の名称(案)を「富谷市」としています。

## お知らせ

- 地区懇談会でもご意見のありました市制移行に関する説明会について土日等の開催を検討しています。詳細が決まり次第、広報等でお知らせします。
- 今回の説明会の資料は、町ホームページで公開しています。また、皆さんからのご意見や町の考え方などの詳細についても、準備ができ次第、お知らせします。
- 市の名称や住所表示の変更など市制に関するご意見や問い合わせがありましたら、電話、ホームページ内の「町長の部屋」(ちょっと聞いて私の声)や役場総合窓口、各公民館、スポーツセンター、福祉健康センターに設置の意見箱(ちょっと聞いて私の声)を利用してください。